

業務の新聞

第47号 2019年 11月8日

皆さんの職場は？？？

台風15号と19号で「計画運休」が実施されましたが、皆さんの職場ではどのような感じでしたか？どのような影響がありましたか？

「地本立ち寄り行動」などで皆さんから寄せられた声では、①出勤に対する職場からの指示はなかった②コンビニも閉まっていた弁当やカップ麺も買えなかった③出勤は“大人の対応で”と言われた④タクシーで出勤するようと言われた⑤よその支社は“自宅待機”の指示があった⑥「欠勤届」を書かされた⑦早く帰ったら“ボーナスに影響があるらしい”と言うウワサがながれた⑧寝るところもなかった⑨JR 本体はホテルに宿泊し、ステーションサービスは空いた職場のベッドだった⑩お客様体調不良で救急車を3台要請した⑪運転再開に向けた線路安全確認などに疑問がある⑫指令の対応はお粗末だ…。

各職場では「安全を確保し、列車を運転する」ために奮闘されたことに敬意を表します。

しかし、出退勤に関する指示や食事・寝室などに関しては再考すべき課題・改善点も明らかになりました。

地本は申2号を発し、支社に問題提起を行いました。今後の交渉では具体的な内容で問題解決と課題の克服に取り組めます。

これまでは“想定外”がこれからは想定した状況になることを顧慮し、お客様と働く社員の安全と列車の安全運行を念頭に、ひとつひとつの事象・案件をクリアしていくことが私たちの課題になります。

些細なことでも構いませんので皆さんの声を聞かせてください。

計画運休について

台風による計画運休について皆さんはどのように感じましたか？またどうすべきだと考えますか？

お客様に安全な列車を提供することが私たちの責務であり、JR 東日本の使命です。

東京支社は、社員の操配や出退勤については「各現場の判断」という指示を発した模様です。その結果として「大人の対応で出勤して」と社員に“忖度”させるような曖昧な指示？になっていることを改めて頂こうと思います。「判ってるよね!!」ということばが、通用するような職場では安全もだれかの都合の良い尺度に「判ってるよね!!」と“忖度”され何が何だか判らなくなってしまうます。

職場で誰も口を噤んでなにも言わなければ、否定的なモノがその職場のトレンドになってしまいます。

職場を基本に、より良い会社とより良い職場を創造するためにがんばりましょう

2019 冬のボーナス！

東日本ユニオンは、**3, 4か月支給、55才以上の社員とグリーンスタッフに一律5万円の加算、12月13日までの支払い**を求め、会社に申し入れました。

11月1日の第1回交渉では私たちから申し入れ趣旨を述べ、会社はこれまでの社員の奮闘に謝意を表しました。

次回交渉は、11月11日です。

地本は、国労東京地本と新鉄労東京地本に“エール”を発しました。要求実現に向け職場から奮闘しよう！！